学校教育目標　**共に学びあい　未来に挑む　輝く瞳をもつ子**

唐松小だより

平成二十四年　八月号

閉校に向けて

平成二十四年度末の閉校に向けて、様々なところで準備が本格的になってきました。すでにお知らせしてきましたとおり、明新小学校との交流も具体的になり、共同の行事も実施し始めました。七月には、一年生と四年生がそれぞれ高齢者との交流の機会を活用して顔合わせをしました。同様に八月には五年生が宿泊研修の場を利用しました。九月には、一年生から五年生までが唐松の地で交流会を行います。

愛児会も統合に向けて準備が進んでいます。現在は三役を中心に調整協議を行っています。二十五日(土)の役員会では、今後のスケジュールも示され、これから本格的に、調整協議を進めて、十二月までには、新しい愛児会の姿を作る予定です。

学校林の運営についても、今までの経過をもとに運営委員会で、「今後の取り扱いについて新見市に一任する」という結論が出され、これまでの地域の方々のご援助に対して、記念品を配布し、閉じることとなりました。

閉校に係る事業の実施についても、実行委員会が組織され、具体的になってきました。「お別れの会」「学校誌の発行」「学校碑の設置」の事業が実施されるとのことです。

学校でも、現在の唐松小学校の誇れるものを再確認し、それを新設校での教育活動に生かせるよう九月以降の教育活動を進めていきます。

行事日程の変更について

閉校式典の日程が内定したことに伴い、年度末の行事日程を一部変更します。よろしくお願いします。

なお、詳細については後日文書にてお知らせします。

３月　２日(土)参観日・愛児会総会
（９日(土)の予定でした。）
３月１３日(水)卒業式
（１４日(木)の予定でした。）
３月１５日(金)修了式
（１８日(月)の予定でした。）

閉校式典
３月１７日(日)閉校式典
お別れの会も同日に

唐松学区防犯組合連合会「防犯パトロール」
予定の日　９月１１日（火）
唐松学区振興会　「安全パトロール」
予定の日　９月２８日（金）

９月一斉下校時刻の変更

ありません。

七夕祭り

今年の高齢者施設との交流もかねて実施しています。七月には唐松荘で四年生、長屋の寺子屋で一年生が活動しました。

〈寺子屋〉

七月三日、一年生が参加しました。初めて交流する施設でしたが、一年生は落ち着いて、「七夕の飾りつけ」「野菜の飾りづくり」「ジャンケンゲーム」などを通してしっかりとした交流を行いました。

最後は、クリスマス会での再会を楽しみに一人一人のお年寄りと握手をしてお別れしました。

〈唐松荘〉

七月六日、四年生が参加しました。七夕飾りづくりを入居者の方と一緒に行い、願い事を尋ねてお年寄りの代わりに書いたり、野菜の飾りを作ったりして交流を深めました。

後半には、四年生が「よさこいソーラン」を踊り、明新小の四年生と合同で「たなばたさま」の合唱や合奏などを披露しました。

会の終了後は、入居者の方の車椅子を押して、部屋まで送っていきました。

子どもたちも「唐松荘の方に喜んでもらえるようにもって交流しよう」という思いやりの心をもって、練習してきたことがしっかりと実現でき、満足の様子でした。

主な行事予定

8月
31日(金)始業日

9月
6日(木) 愛児会役員会19-
13日(木) 稲刈り予定
25日(火)～26日(水) 修学旅行
25日(火)遠足(明新小との交流)
28日(金) 交通教室

業作がざ仕りごした奉あうま

８月２５日(土)に愛児会奉仕作業が行われました。今年も校内の整備ができました。遊具のペンキ塗りや窓ふき、樹木の剪定などたくさんの仕事をしていただきました。ありがとうございました。

『あいさつ』一考

唐松小学校の子どもたちはよくあいさつができると評価していただいています。あいさつについて、少し深めて考えてみたいと思います。

心理学者の植木理恵先生のお話を紹介します。

「心理学ではあいさつを二種類に分けます。一つは、自分が喋るための合図のあいさつです。『みなさん、こんにちは』というのは、これから何かを始めますよ、という合図です。もう一つは、『おはよう』『おつかれさま』『こんばんは』『おやすみなさい』など、ただ、あいさつをすることが目的であいさつです。…中略…

あいさつをすることが目的であるあいさつ『おはよう』『おつかれさま』『こんばんは』『おやすみなさい』などは、あなたはここで存在して生きて良いんですよ、私は嬉しいんですよ、と伝えることになります。あいさつに肯定的な内容があるわけです。あなたを認めます、という意味があるのです。だから言われると嬉しいし、言うと元気になるのです。

この『言うと元気になる』を心理学的に考えると、普通は『あの子元気なあいさつしているから元気な子だな』と思いますけれど、違うんです。元気だからあいさつをするのではなく、あいさつをするから元気になる、と心理学では捉えます。行動と感情というものは感情が元気だから行動も元気ということもありますが、行動が先にあって感情が後追いすることもあるんです。大きな声であいさつしたら元気になってきた・・・」（「昭和の町は教育のまちです第四集大分県豊後高田市学びの二一世紀塾発行」より講演内容を一部要約）　夏休みも終わり、今日(八月三十一日)から子どもたちは元気に登校しています。みんなを元気にするあいさつで、学校が始まりました。